

滋賀

GPN

News



滋賀GPNキャラクター エコペン

第29号 2016年3月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース



環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

「生物多様性と環境・CSR研究会」が発足!

2015年夏、滋賀GPNに新たな研究会「生物多様性と環境・CSR研究会」が発足しました。12月7日にはキックオフセミナーを開催し、企業から14名、行政から5名、大学他から3名、合計34名にご参加いただきました。生物多様性保全の基礎知識について菊池玲奈氏（結・社会デザイン事務所代表）と高橋卓也氏（滋賀GPN副会長）からご講演いただいた後、自社の悩みや本研究会への期待などについて、参加者全員でディスカッションしました。

節電など具体的なアクションにつなげやすい地球温暖化対策と比較して、深刻な環境問題であることは知っていても、具体的に何をすればいいのかがイメージしにくい生物多様性問題は、今ひとつ企業活動や日常生活の中にその対策が浸透していないのが実情のようです。

一般的に生物多様性は「生き物のつながり」と定義されています。当たり前ですが、我々人間は自分一人、ただ一種だけで生きていくことはできません。地球上では、あらゆる生物が直接、間接につながって初めて生きていけます。その現実を踏まえながら、本研究会では、滋賀GPN会員からの以下のような疑問や思いにお応えしていこうと考えています。



研究会リーダー 横地 富重
(㈱ダイフク滋賀事業所 環境・品質グループ長)

- ① 基本的な知識や他社の取り組み内容など最新情報を知りたい。
- ② 生物多様性問題にどのように社内に取り組みればよいかわからない。
- ③ 県内の企業や団体と連携して滋賀県ならではの活動を行いたい。

特に企業の環境・CSRご担当の皆さん、本研究会へのご参加をお待ちしています!



キックオフセミナーの様子（会場：コラボしが21）

INDEX

- 「生物多様性と環境・CSR研究会」が発足! …… 1
- Report1 「グリーン購入フォーラム2015 in 滋賀～地域からエネルギーの未来を創る～」 …… 2
- Report2 「びわ湖環境ビジネスメッセ2015」出展 …… 2
- Report3 会員講師派遣 …… 2
- Report4
「自治体のグリーン購入担当者連絡会議」 …… 3
- Report5 地域事業への協賛・協力 …… 3
- Report6 三方よしエコフォーラム …… 4・5

- Report7 三方よしエコフェア2015 …… 4・5
- 滋賀GPN会員でつなぐリレートーク
関西エムアイ株式会社 …… 6
- 第2回「買うエコ大賞」 …… 6
- 新規会員からひとこと …… 7
- 滋賀GPNホームページ 協賛バナー広告募集中! …… 7
- 会員発エコ商品情報 …… 8
- 編集後記 …… 8



Report 1

「グリーン購入フォーラム2015 in 滋賀 ～地域からエネルギーの未来を創る～」

- 開催日：2015年10月23日(金) ●参加者：100名
- 会場：長浜バイオ大学 命北館5階 大講義室2(長浜市)

『トヨタのエネルギーマネジメント関連の新事業の取り組み』と題した基調講演では、トヨタ自動車 新事業企画部企画室長の等哲郎氏から、トヨタ自動車が取り組むエネルギーの見える化により、エネルギー需要側と供給側で一体となったマネジメントの仕組み等についてお話しいただきました。続いて行ったパネルディスカッションでは『地域におけるエネルギーの未来』をテーマに、いぶきグリーンエナジー 取締役発電部長の清水国行氏、大阪ガス 滋賀地区支配人の船谷昭夫氏、滋賀県エネルギー政策課主幹の中嶋洋一氏より事例をご報告いただいた後、基調講演の等氏にもご参加いただき、滋賀県立大学の高橋卓也教授のコーディネートでディスカッションしていただきました。パネリストの皆様からは、「さらに小規模の地域で仕組みの構築が望まれる」「エネルギーコストを下げる努力をして地域に貢献していきたい」等、エネルギーを地域で回す仕組みづくりについて前向きな意見が出されました。

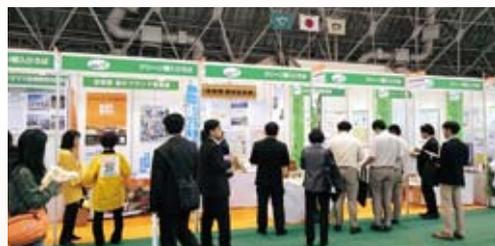


Report 2

「びわ湖環境ビジネスメッセ2015」出展

- 開催日：2015年10月21日(水)～23日(金)
- 会場：長浜ドーム(長浜市)

滋賀県の関係課（会計管理局管理課、循環社会推進課、森林政策課、食のブランド推進課）との連携によりSサイズ小間6ブースでの「グリーン購入ひろば」として出展し、クイズラリーには約850人にご参加いただきました。また、会員47団体の出展ブースに「シンボルマーク」を掲示していただき、共にグリーン購入の普及啓発を行いました。



【シンボルマーク設置会員】 アインズ(株)、(株)アヤハディオ、(株)エコパレット滋賀、(公財)淡海環境保全財団、大阪ガス(株)、関西電力(株)、(一社)kikito、木村電工(株)、(株)キャムズ、近畿環境保全(株)、(株)近畿理研、甲賀高分子(株)、(株)KOHDEN、(株)コクヨ工業滋賀、(株)コンセ、(株)彩生舎、三和産業(株)、(株)しがざん経済文化センター、(株)滋賀銀行、滋賀県、滋賀建機(株)、(公財)滋賀県産業支援プラザ、滋賀県立大学、滋賀殖産(株)、上西産業(株)、新江州(株)、(株)スマイ印刷、(株)セブンワンツリーズ、(株)千成亭、ダイキン工業(株)、ダイハツ工業(株)、高橋金属(株)、ティーエムエルデ(株)、(株)テクノサイエンス、中島商事(株)、夏原工業(株)、西村建設(株)、日本エコ照明(株)、日本ソフト開発(株)、日本電気硝子(株)、(株)日吉、(株)平和堂、三菱樹脂(株)、(株)明豊建設、山岡ヤマゼン(株)、(株)山久、山室木材工業(株)

Report 3

会員講師派遣

滋賀県や大学等が実施するセミナー等の講師として、滋賀GPN会員の皆様にご協力いただいています。



【2015年度 会員講師派遣実績】

立命館大学「現代環境論」

アインズ(株) 谷康夫 氏、たねやグループ 木田幸司 氏
大阪ガス(株) 青木覚 氏、日本電気硝子(株) 伊藤俊一 氏

滋賀大学「環境とNPO」

旭化成住工(株)本社滋賀工場 松宮秀典 氏

滋賀県「GPプラン滋賀支援プログラム」

(株)コクヨ工業滋賀 太田俊浩 氏
ダイキン工業(株)滋賀製作所 光永健一 氏
滋賀ダイハツ販売(株) 後藤敬一 氏
(株)ベストハウス 吉本智 氏
かたぎ古香園 片木明 氏
(株)近江ミネラルウォーターサービス 浅野裕史 氏
アインズ(株) 谷康夫 氏

Report 4

「自治体のグリーン購入担当者連絡会議」

●開催日：2015年11月10日(火) ●参加者：19名

滋賀GPN自治体部会では年2回、自治体担当者の連絡会議を開催しています。今年度2回目の連絡会議は、エネルギーの地産地消をテーマとする見学研修会として開催しました。

初めに、滋賀県内初の木質バイオマス発電施設のある、ヤマムログループのいぶきグリーンエナジー（米原市）を訪ねました。ヤマムログループでは木質廃棄物のリサイクル事業を進めてきた経験を活かし、エネルギー供給と木材のリサイクルを両立させようと、2015年1月よりこの発電所を稼働させています。木質バイオマス発電とは、木材チップを燃料として利用し、発生した蒸気でタービンを回して発電する仕組みです。解体廃材や間伐材を燃料とするこちらの発電所の最大出力は3,550kWで、これは米原市の約半数の世帯数に相当（6500世帯分）するそうです。

その後、長浜市に移動し、山室木材工業の「木質温室ハウス」を見学しました。珍しい木質のハウスは、地域の材を使ってグループ会社が木材加工を行い建てられました。熱源には自社工場で製造した木質チップを燃料とするバイオマスボイラーが使われていて、熱源も建物本体もカーボンニュートラルです。このハウスで栽培される南国フルーツのマンゴー「みつなり」は間もなく商品化される予定だそうです。新たな滋賀の名産となることが期待されます。

見学会終了後、米原市庁舎会議室にて、見学会の振り返りと情報交換を行う場を持ちました。栗東市、米原市からそれぞれの環境マネジメントシステムの状況等について事例報告いただき、質疑応答と意見交換を行いました。マネジメントシステムの内部監査の方法等について熱心な意見交換が行われました。



Report 5

地域事業への協賛・協力

滋賀GPNでは、様々な地域事業に出展・参加し、また、講師として協力しています。その一部をご紹介します。

JICA 課題別研修

(主催：(公財)京都市環境保全活動推進協会)

9月9日(水)

国際協力機構（JICA）が開発途上国の廃棄物管理・処理力向上を支援するために現地から研修生を招いて実施する研修会に協力し、グリーン購入に関する講義を行いました。



消費生活フェスタ

(主催：滋賀県)

9月12日(土)

ビバシティ彦根で開催された「消費生活フェスタ」にブース出展し、「旬あてゲーム」や「お買い物ゲーム」を実施しました。啓発パネル展示も行いました。



水銀条約セミナー in 草津 2015

(主催：(特活)コンシューマーズ京都)

11月24日(火)

「水銀に関する水俣条約と廃棄物対策」と題して金谷健氏（滋賀県立大学教授）の基調講演等がありました。滋賀GPNゼロエミ研究会の松宮秀典リーダー（旭化成住工 本社滋賀工場）が研究会の活動報告を行いました。参加者は40名でした。



よばれやんせ湖北フォーラム

(主催：よばれやんせ湖北実行委員会)

11月29日(日)

循環型社会システム研究所の森健司代表による「地産地消で地域おこし～まず食から～」と題した基調講演と、地域の生産者・事業者によるパネルディスカッションが行われました。滋賀GPNは広報等で協力し、当日スタッフを務めました。参加者は50名でした。



Report 6

県民 企業 行政 が共に考える

『三方よしエコフォーラム』

“もったいない”から始める 資源循環

～地域でつなごう3Rの輪!～

- 開催日：2015年12月6日(日)
- 会場：ピアザ淡海 大会議室(大津市)
- 参加者：約100名 ●主催：滋賀県・滋賀GPN



プログラム

- 開会挨拶 滋賀県副知事 西嶋 栄治 氏
- 講演
 「キリングroup 環境への取り組み」
 キリンビール(株)滋賀工場
 エンジニアリング環境安全担当部長 松並 正純 氏
- 報告
 「残さず食べて、地球に『まる』! ～松本市の食べ物もったいない運動～」
 松本市 環境政策課 課長補佐 羽田野 雅司 氏
- 報告
 「第四次滋賀県廃棄物処理計画の方向性」
 滋賀県 循環社会推進課 課長 杉井 威夫 氏
- フロアトーク
 「“もったいない”から始める資源循環～地域でつなごう3Rの輪!～」
 パネリスト
 (株)平和堂 CSR推進室 室長 吉川 満治 氏
 あいとふくしモール運営委員会 代表 野村 正次 氏
 甲賀市 生活環境課 廃棄物対策係 係長 前田 三嗣 氏
 松本市 環境政策課 課長補佐 羽田野 雅司 氏
 滋賀県 循環社会推進課 課長 杉井 威夫 氏
- コーディネーター
 NPO 碧いびわ湖 代表理事 村上 悟 氏

キリングroup 環境への取り組み

2050年には世界人口が90億人に、経済規模は現在の約4倍になり、人間活動の増加から資源採取量が現在の3倍以上に増え、CO2排出量も50%以上増えるのではないかとされています。そうなれば事業活動が成り立たなくなることから、キリングgroupでは2050年という長期的視野に立って、生物資源、水資源、容器資源が持続可能となるよう、また、地球温暖化がさらにその危機を悪化させる可能性が高いことを視野に入れつつ、「キリングgroup長期環境ビジョン」を策定されて、環境の取り組みを進めておられます。キリンビールの工場では1990年にはビール1本作るのに10.4本分の水を使用していましたが、節水に取り組み、現在ではビール1本あたり4.9本の水で作れるところまで来ています。CO2排出量削減の取り組みでは、2050年にバリューチェーン全体で1990年比50%削減という目標を立て、グローバルな取り組みを展開されています。



Report 7

『三方よしエコフェア 2015』

「心地よい暮らし」を提案する様々な商品を展示・即売しました。会場ステージでは、クイズ大会やミニコンサートなどを行いました。

- 開催日：2015年12月6日(日)
- 会場：ピアザ淡海 大会議室(大津市)
- 参加者：約800名
- 主催：滋賀GPN ●後援：滋賀県
- 協力：(-社)ガールスカウト滋賀県連盟



松本市の食べ物もったいない運動

日本では年間642万トンの食品ロスが出ていると言われています。これは米の年間生産量800万トンに迫る大きな数字です。松本市では、この食品ロスを減らすため、宴会開始後の30分間と最後の10分間は、席に座って食事を楽しもうという『残さず食べよう! 30・10 (さんまるいちまる) 運動』を展開されています。ポスター掲示や啓発品配布により市民に呼び掛け、飲食店には同料金で質をあげて量を減らした「プラチナメニュー」の提供を呼び掛けるほか、保育園の園児を対象とする環境教育を「楽しく」行っています。環境教育実施2か月後に行うアンケート調査の結果から、約半数の園児、約4割の保護者の意識や行動に変化があったことが確認されました。大切なのは、一人ひとりが「もったいない」を意識して行動することだと、『家庭版30・10運動』の推進も始められています。

※松本市は今年1月に第3回食品産業もったいない大賞「農林水産省食料産業局長賞」を受賞されました。



“もったいない”から始める資源循環～地域でつなごう3Rの輪!～

「環境問題」は誰にも共通した課題です。様々な立場の参加者が、自分の立場だからこそできることを見つけようと会場参加型でディスカッションしました。

吉川：平和堂では、販売するだけではなく容器の回収・リサイクルにも力を入れています。店頭回収のほか、県内47店舗に設置したリサイクルステーションでは古紙、缶、ペットボトル等を回収する際にポイントをつけて、ポイントを貯める楽しみと共に回収量を増やすことを狙っています。店舗から出る食品廃棄物を堆肥化して、それを使用して指定農場で野菜をつくり、その循環野菜を店頭販売する取り組みも進めています。



野村：あいとうふくしモールは、障がい者共同作業所を運営するNPO、高齢者の介護事業を展開するNPO、食を通して地域循環を目指す株式会社の3者が集まり2013年にオープンしました。市民共同発電の太陽光パネルで売電し、地域に還元する仕組みを回しています。冬の暖は薪ストーブで取り、薪割り作業を障がい者の方々をお願いしています。生ごみをコンポスト処理して野菜作りをし、そこにも雇用が生まれています。地域の人と資源を生かし、食とエネルギーとケアが地域で自給できる「安心のよりどころ」となることを目指しています。

前田：甲賀市の「生ごみ堆肥化循環システム」は平成14年にスタートしました。当時、人口増加でごみの量が増え続け、ごみ焼却施設の処理能力が限界に近くなったため、燃えるごみを減らす必要がありました。家庭ごみの約4割(重量比)が生ごみであったことから、生ごみ堆肥化に取り組むことになりました。現在、約8900世帯が参加しています。今後は、あいとうふくしモールさんの事例を参考に、地域で処理していただくことも進めていきたいと考えています。

杉井：食べ残しに限らず、食品ロスをどのように減らしていくか、今後も考えていかなければいけません。また、地域で出たものは地域で処理していくということが、地域の経済にとっても地域の人々にとっても大切なことなのではないかと思えます。第四次滋賀県廃棄物処理計画は、今日皆さんからいただいたご意見も参考にしまとめさせていただきます。4月頃にパブリックコメントを募集しますので、皆さんからの貴重なご意見を、ぜひお寄せください。

村上：資源循環を考えるうえで、地域の人が「活かされ」、その地域で自分たちが「生きていく」ことを考えることが大切だと、改めて感じました。みんなの力でごみを減らし、ごみを生かす。仕方なくやるのではなく、「楽しく」「面白く」というキーワードも大切ですね。一緒に、楽しく、美しく、足元から地域づくりを進めていきたいですね。

【出展団体】 35団体

あいとうふくしモール、NPO 碧いびわ湖、(株)いちばん、(株)エコパレット滋賀、近江鉄道ゆうグループ、ファーマーズマーケットおうみんち、朝宮茶かたぎ古香園、(一社) ガールスカウト滋賀県連盟、農業法人(有)甲賀もち工房、(株)コクヨ工業滋賀、こだわり滋賀ネットワーク、こなんの森木の家ねっと組手什甲賀、こにゃん森のエネルギー研究会、JA草津市、JA滋賀中央会、滋賀県会計管理局管理課、滋賀県循環社会推進課、滋賀県消費生活センター、滋賀県産材利活用推進研究会、滋賀県生活協同組合連合会、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル、(公財) 滋賀県緑化推進会、(株)滋賀原木、上西産業(株)、新江州(株)、すみれ倶楽部、せせらぎの郷、(株)千成亭、NPO 法人日本食品リサイクルネットワーク 関西支部、パン工房ヤックル、(株)平和堂、(株)ヤサカアレルノン食品、ワークショップぷくぷく・(有)ヤマダ油脂、輪の国びわ湖推進協議会

【協賛団体】 21団体

(株)いちばん、(株)エコパレット滋賀、(公財) 淡海環境保全財団、大阪ガス(株)滋賀事業所、(株)木の家専門店谷口工務店、JAおうみ富士、JA滋賀中央会、(株)滋賀銀行、(公財) 滋賀県産業支援プラザ、滋賀県生活協同組合連合会、上西産業(株)、新江州(株)、たねやグループ、NPO 法人日本食品リサイクルネットワーク、日本電気硝子(株)、(株)沢田商店、びわ湖パナソニックファミリー会、(株)平和堂、(有)ヤマダ油脂、(有)山本材木店、(株)ヨシダヤ

Relay
Talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

関西エムアイ株式会社
第2グループ グループ長

堤 哲也



この記事が記載される頃には春の兆しが見える時期だと思えますが、季節の変わり目に体調を崩される方も多いと思えますので皆様も含め十分注意しましょう。



さて、関西エムアイ株式会社（以後 弊社）といたしまして、環境に関する取り組みとして幾つか簡単に御紹介させていただきます。

弊社の取り組みとしまして以下の内容に取り組んでおります。

内容といたしましては、①KESに関係する無駄を無くす取り組み。②工事に伴い出た廃材及び分別処理。などがあります。

まず①の内容としましては、社内で印刷ミスによる裏紙使用によるリユース（再利用）、電気の照明を場所毎に区画し電力の省力化。KESの地域貢献としまして会社周辺での清掃活動などを実施しております。（写真左参照）

②につきましては、弊社は工事及びメンテナンスを主として活動しておりますので、その際にでました鉄屑などを分別リサ

イクル（再生）出来るよう、取り組みを行っております。

現在、環境破壊などの問題が大きく取り上げられております。各個人及び企業が少しでも意識し取り組みを行うことで、これからの世代の方々に少しでも良い環境を受け継ぐ事が出来ると信じております。

そのためには、「誰かがするだろう。」「誰かに任せれば良いだろう。」など他力本願にならず、各々が常に意識し取り組む姿勢を持って進んでいこうと思います。

最後になりますが、今も取り組んでいると話される方々もいるとは思いますが、この文章を読んで頂きまして改めて再認識して頂ければ幸いです。

以上、簡単ではございますが、弊社の取り組みの紹介を終わらせていただきます。ありがとうございました。

次回は、オーウェル株式会社さんをお願い致します。



関西エムアイ株式会社

滋賀県栗東市小栢3丁目2番10号
TEL : 077-552-1185
<http://www.kansai-mi.com/>

～あなたの“投票”で大賞が決まる!～
第2回「買うエコ大賞」

環境に配慮した滋賀県産の商品（原材料が滋賀県産のものも含む）・サービスの表彰制度「買うエコ大賞」は、審査会で選ばれた商品をウェブサイト等を活用して紹介し、一般投票で大きな支持を得られた商品・サービスを表彰するもので、滋賀県産エコ商品の普及拡大とグリーン購入の推進を目的として実施します。ふるってご応募ください。

※詳細はホームページをご覧ください。 <http://kaueco.net/>



- 募集期間 2016年6月～7月20日(予定)
- 第1次審査会 2016年8月9日(火)
(一般公開のプレゼンテーション大会)

※第1次審査通過者を対象として約2か月間一般投票期間を設け、最終審査会の後、結果発表と表彰式を行います。最終の結果発表は12月初旬の予定です。

新規会員からひとこと

2015年8月1日から
2016年2月20日までの入会者
(団体名の50音順)

一級建築士事務所 竹田プランニングシステム

代表 竹田 久志

湖南エリアを中心に建築設計業務を行っています。地域の歴史や文化、資源を生かした建物づくりとまちづくりを目指しています。

(株)オフィス・サービス

代表取締役社長 木村 正治

弊社は事務機器を通じお客様の快適なオフィス空間を創造し地域オンリーワンを目指す会社です。今後ともよろしく願い致します。

かがり司法書士・行政書士事務所

所長 太田 智真

登記・企業法務・遺言・成年後見・相続・契約等でお困りの方の今後を照らす「かがり火」となります。お客様の心・時間・財産を大切にします。

GINLALA(音楽ユニット)

菅野 らら

地元特産品のテーマソングを作り、歌を通して地産地消の推進や、子ども達が地元愛をたくむ活動を応援しています。

(一社)蛍光管リサイクル協会

代表理事 原 強

水銀条約をふまえた国内対策のもと「蛍光管の適正処理」は事業者の社会的責任です。滋賀県ならではのシステムを作りあげましょう。

(株)国華荘 びわ湖花街道

社長室 室長 高野 健一郎

母なる琵琶湖の自然に恵まれた美しい環境に感謝し、旅館業を通じて、様々な琵琶湖の環境保全と情報発信に取り組んでおります。

(株)滋賀原木

社長付 西村 健之

滋賀でいい暮らし。滋賀原木は、滋賀で住まわれる方のいい暮らしを応援する事業を展開しております。びわ湖材取扱認定事業者です。

生活クラブ生活協同組合

理事長 野瀬 美奈子

容器はゴミを出さないリユース瓶。石けんしか扱わない。添加物削減、遺伝子組み換え食物は排除など、持続可能な社会を創る生協です。

セトレ マリーナびわ湖

ゼネラルマネジャー 宮本 由香

セトレ マリーナびわ湖は琵琶湖の環境と共生する事をコンセプトに誕生したホテルで、2015年環境大臣賞を受賞いたしました。

(株)地域環境計画

大阪支社長 上崎 聡敏

私たち「ちいかん」は、生きものと環境保全の専門家集団として、自然と人にとってつねにベストな結果を追求しています。

西村建設(株)

代表取締役社長 中村 好弥

建設事業活動において、生態系への配慮と自然環境保全に取り組み、ものづくりの見える化に配慮した施工を行っています。

(株)古川与助商店

代表取締役 河村 朱美

和紙や薄素材を1~10mm巾にカットして手芸、アパレル用の糸を作っています。最近は和紙糸入りのジャケット、シャツ、バック、タオル等も製造・販売しています。

(株)ムーヴテック

代表取締役 田川 正人

産業用ロボットから精密工作機・半導体製造装置に至るまで、環境配慮に取り組みながら、ソフト・ハードの両面でサポートいたします。

(株)森田電器工業所

代表取締役 森田 真人

家電製品の製造、完成品組立等に携わり、ISO9001、14001も取得し、品質のみならず、環境にも配慮した生産をしております。

旅館紅鮎

フロントチーフ 山本 享平

旅館は消費産業の最たる例ですが、その中でどのくらい環境保全に貢献できるかに挑戦したいと思います。色々ご教示ください。

現会員数：481 (2016年2月20日現在) [企業404、行政21、団体56]

滋賀GPNホームページ 協賛バナー広告募集中!

活動をご支援いただける事業者様の
バナー広告を募集しています。

● 会員価格：6ヶ月64,800円(税込)

※詳細は事務局までお問い合わせください

URL : <http://www.shigagpn.gr.jp/>





会員発工コ商品情報

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

～天然成分100%の無香料消臭除菌剤～

「天然スーパーバイオ210」

株式会社イケダ光音堂

天然バイオの力で嫌なニオイとウィルスをシャットアウト! 化学成分を使用していない天然のバイオ100%です。人体や動物、植物に無害で、無臭ですので臭気ストレスから解放されます。お子さまやペットにも安心です。安全試験、抗菌力試験、ウィルス不活性試験、全て第三者機関で実施し、インフルエンザ、ノロウィルスなどのウィルスに24時間以上の不活性を実現。自衛隊、消防署など、導入にあたって非常に厳しい検査がある機関で認められています。特に火気厳禁でアルコール系の消臭剤を使用できない潜水艦の中や消防署で大変重宝されています。



〈お問合せ〉株式会社イケダ光音堂 管理課

〒526-0021 長浜市八幡中山町477風の街ビル

TEL : 0749-63-7311 FAX : 0749-65-0332

E-mail : yoshida@ikedakouondo.com

楽天でも販売中→ <http://www.rakuten.co.jp/i-media/>

～地球を思いやるリサイクル石けん～

「泡ぶくハンドソープ」

有限会社ヤマダ油脂

限りある資源を大切に考え、使い終わった食用油から高純度の脂肪酸原料に精製し高品質な石けんができました。地域で発生する使い終わったてんぷら油を再びその地域で石けんとして使い切る、びわ湖の環境を守り循環型社会を実現する廃食油リサイクル石けんをご提案いたします。

高品質なリサイクル石けんは、手洗い用、食器洗い用、洗濯用、化粧石鹸があります。

全てエコマーク認定製品であり、環境にも肌にもやさしい石けんです。



〈お問合せ〉有限会社ヤマダ油脂 営業部

〒529-1162 犬上郡豊郷町八町1602

TEL : 0749-35-3527 FAX : 0749-35-3547

E-mail : morozumi@yamada-yushi.sakura.ne.jp

製品紹介URL : <http://www.sksoap.co.jp/business/recyclesoap.html>

編集後記

2016年は、マイナンバー制度の運用開始、5月にはお隣りの三重県伊勢志摩においてG8サミット、7月には参議院議員通常選挙、8月はリオ・デ・ジャネイロでオリンピック開催、さらには、11月にアメリカ大統領選挙と大イベントが目白押しです。

私たちの暮らしに直結する行事や間接的に影響する行事と様々ですが世の中が動くということは、経済の活性化につながり、滋賀の地方経済にも良い影響を及ぼすことだと思います。しかし、その反面、自然破壊や労働環境の負荷に繋がる活動も出て来ると予測されます。

我々の企業活動においても、どのような影響があるのかということをしっかり受け止め、グリーン経済のコンセプトを大切に、社会事象への感性を高めながら敏感に対応しなければならないと考えます。

当社は、昨年6月に、遅まきながらCSR委員会を立ち上げ、企業としての社会的責任に取組み始めました。お客様、取引先様、従業員、地域社会の4つのステークホルダーに対して、委員会活動を中心に活動し、対話し、改善をしています。よちよち歩きながら確実にその歩を進めており、もちろん、グリーン購入もコンセプトに入れて活動中です。どうぞ、皆さん、一緒に『滋賀からグリーン経済』を進めていきましょう!

(幹事/アインズ㈱ 谷 康夫)

先日、パナソニック㈱さんで取組んでいらっしゃる「ソーラーランタン10万台プロジェクト」に関するお話をお聞きする機会がございました。今でも世界では無電化(電気が供給されていない)地域で生活している人々は約12億人(世界人口の約20%)います。その地域では、夜は主に灯油ランプが使われていますが、照度が不十分で、また煙による健康被害や火事の危険にさらされているのとのこと。パナソニックさんの当プロジェクトは、本業技術・製品を活用した社会貢献活動として太陽光発電による小型照明器具(ソーラーランタン)を、新興国や途上国の無電化地域に無償で提供する事業で、東南アジアやアフリカ諸国の計14ヶ国に2018年度までに10万台を寄贈するとのこと。

我々は当たり前“灯”を享受し生活していますが、その“灯”がなく、夜になると医療活動、経済活動等ができない地域が今もなお多くあることを再認識し、当プロジェクトに感銘を受けました。

恵まれた環境下にある私が微力ながらできること。当会の仲間と地域環境を守ること、弊社の創業事業の“灯”の大切さを次世代に伝えていくこと。この2つ実践したいと思っています。

(幹事/大阪ガス㈱ 青木 覚)



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: <http://www.shigagpn.gr.jp/>

